

平成21年度 第12回 (3月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年3月11日(木) 午後6時30分～8時00分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、暹天、竹浦、吉本、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、山西、小宮山、東野、事務(岩崎)
- 欠席者 高田、高橋、山田、村上
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (2月分)

- 2月2日 第5回合同フォーラム委員会
竹浦、清水
- 4日 大阪医療技術学園専門学校
平成21年度卒業研究発表会
今井
- 4日 理事会
今井、暹天、竹浦、吉本、高田、清水、荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、山西、東野
- 5日 選挙管理委員会・役員推薦委員会
今井、暹天
- 7日 社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会
法人化50周年記念式典
今井
- 9日 支部長会
田畑、出野、栗本
- 10日 10日 近臨技理事会
今井、竹浦、荒木
- 10日 近臨技会長会議
今井
- 11日 社団法人大阪府薬剤師会
創立120周年記念式典
今井
- 13日 大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会
今井、竹浦、山西
- 17日 総務・会計部会
吉本、荒木、山田
- 18日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 18日 情報組織部会
竹浦、井戸田、酒井、山西、小宮山
- 19日 渉外部会
清水、大垣
- 20日 第32回献血推進活動
今井、竹浦、清水、田畑、大垣、小宮山
- 20日 技師長会
今井、暹天、竹浦、田畑、荒木、酒井、小宮山、山西、村上
- 21日 第16回糖尿病療養指導士講演会
今井、小宮山
- 24日 常務理事会
今井、暹天、竹浦、高田、荒木
- 25日 学術部会
高田、宮野、山西
- 25日 第1回財務管理研修打ち合わせ会議
暹天、井戸田、酒井
- 26日 一般検査部門研修会
山西
- 28日 第3回大阪府臨床検査技師会ICLSコース
竹浦
- 28日 滋賀県臨床検査技師会創立55周年・法人設立25周年記念式典
今井

II 経過報告

1. 日臨技
 - 事務局職員のインフルエンザ感染対策に伴う勤務時間変更が解除された。
2. 近臨技
 - 2月10日に会長会議と理事会が開催された。
 - 会長会議協議事項
 - ①プロモーションガイドライン解説書の経緯と概略、②今後のスケジュール、③第59回日本医学検査学会での各府県への協力要請、④日臨技公益法人改革、⑤近臨技HP開設について、⑥近臨技組織改革の提案、⑦近臨技名誉会員名簿、⑧平成22年度仏語圏アフリカ臨床検査技術コース日程
 - 近臨技理事会協議事項
 - ①第49回近畿医学検査学会決算報告・表彰者、②第50回近畿医学検査学会記念事業、③第50回近畿医学検査学会アンケート申請、④平成22年度仏語圏アフリカ臨床検査技術コース日程、⑤平成22年度事業計画案・予算案、⑥日臨技平成22・23年度役員推薦委員会及び選挙管理委員会委員の選出、⑦チーム医療十進委員会事業報告・決算報告、⑧近畿医療セミナー
3. 公益法人移行委員会
 - 2月24日に委員会が開催された。
 - 荒木会計部長より公益法人会計について説明後、討議した。
 - 今井会長より近臨技の公益法人対策部会の立ち上げについて報告があった。
4. 事務局
(総務部)
 - 2月17日に部会を開催した。
 - 大臨技総会について検討した。
 - 大臨技ホームページの体制について検討した。
 - 賛助会員への対応について検討した。
 - 平成22年度総務・会計部の体制について検討した。
 - 大臨技ニュース2月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
(会計部)
 - 2月17日に部会を開催した。
 - 1月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ1月分会費の送金を行った。
(渉外部)
 - 2月19日に部会を開催した。
 - 2月2日開催の合同フォーラム第5回委員会の説明を行った。
 - 大臨技90名、大放技58名、一般47名 計195名の参加があった。
 - 第32回献血推進活動について内容を検討した。献血受付者97名(採血78名)
 - 日臨技公益委託事業の運営について説明を行った。
 - 来年度事業について検討した。
5. 事業局
(情報組織部)
 - 2月18日に部会を開催した。
 - 第26回技師長会について役割分担の確認を行った。
 - 来年度事業のアンケート調査について検討した。
 - 2月20日に、第26回技師長会を開催した。総参加者数92名(一般66名(大阪60・奈良3・兵庫3):講師・部員関係者13名含む、賛助会員ほか26名(講師1名含む))
(地区事業部)
 - 2月18日に部会を開催した。

- 施設連絡者会(3月20日(土)、大阪産業創造館)の設営・受付等について話し合った。
 - マタニティカーニバル2010の方針について話し合った。
 - 支部長会(2月9日)を開催した。
内容:平成21年度事業報告、22年度事業計画(案)、世話人変更について
<学術部>
2月25日に部会を開催した。
 - 第2回学術部講演会について発表者と一緒に最終打ち合わせを行なった。
 - 第3回大阪府臨床検査技師会ICLS コースについて打ち合わせを行った。
- 資料に基づいて説明があった。
 - 学術部へ、第1議長の選出依頼をした、
- 3)「第60回日本電気泳動学会シンポジウム」における当会の後援名義使用が承認された。

Ⅲ 他、報告

1. 近臨技 第1回公益法人対策部会(3月2日開催)報告(運天副会長)
 - 各府県の進捗状況報告があった。
 - 現状の問題点として、
 - ① 学術部の事業は公益事業と判断されるか。
 - ② 日臨技の方向性、コンサルタントの判定結果、支部化の現状はどうか。
 - ③ 単独会員についても会員減少防止のため視野に入れるかどうか。
 - 2ヵ月後に第2回公益法人対策部会を開催することとした。
2. その他
 - 4月3日(土)15:00~17:00に、大阪府病院年金会館にて第5回近畿医療フォーラムが開催される。テーマは「認知症ってなに?」。
 - 「日臨技生涯教育研修制度」平成21年度事務処理の締切が4月15日(水)であるため、本年度事業の参加登録を今月中に完了することとする。
 - 献血推進活動への参加者募集要請があった。

Ⅳ 議題

1. 大臨技役員推薦委員と選挙管理委員の選考について(今井会長)
 - 役員は2年毎に選考することとした。
 - 今回は、役員推薦委員については、田淵氏、泉口氏および田淵の後任として、朝山氏、東野氏、村上氏に依頼する。選挙管理委員については、田中氏の後任として北中氏に依頼することとした。
2. 緊急検査部会の立ち上げについて(今井会長)
 - 緊急検査部会設立発起人代表より届いた「緊急検査部会設立趣意書」について、理事の意見を募った。その結果、平成22年度予算には組入れできないため、学術部もしくはチーム医療部門とジョイントして活動する方法があるが、これら具体的な方法を学術部で検討し、次回の理事会で継続審議することとした。
3. 子宮がん検診推進啓発活動について(清水理事)
 - 子宮の日(4月9日)を中心とした子宮頸がん検診推進啓発活動について、日本細胞断学推進協会細胞検査士会会長よりの趣意書および同大阪府支部長より共催申請書が提出された。
討議の結果、共催申請については承認され、次回の献血推進活動(4月10日(土)13:00~17:00、難波グリーンガーデン)において共同事業として活動することとなった。
4. その他
 - 1) 日本輸血細胞治療学会より「標準的技量を持つ輸血検査技師育成」のための研修事業の受講者推薦依頼が届いた。受講者については、輸血部会経由で推薦することとした。
 - 2) 平成22年度第1回定期総会について